

バイオセラピー学 特別研究総合演習（一）（2単位）

担当者氏名 小川博・佐々木剛・松林尚志・増田宏司・土田あさみ・宮本太・御影雅幸・三井裕樹・小池安比古・松嶋賢一・太田光明・川嶋舟・内山秀彦・浅野房世・藤岡真実

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

授業担当教員の指導の下でバイオセラピー学専攻の理念構築を進めるための研究がどのようなものであるかを学ぶ。また、高度な専門的研究者や職業人の育成をめざし、自立して研究活動ができる研究者および職業人となるための専門性を強化する。具体的には研究テーマの設定、研究計画の立案について討論を重ねる。また各学生のこれまでの研究（学部卒業論文および修士論文）などの研究経緯とその結果を再評価し、これまでの研究の問題点、修正点を明らかにする。これらの討議を進める過程で、研究の意義ならびに目的、新規性、独自性ととも、バイオセラピー学に対して社会が求める問題解決への理論を学ぶことを目的とする。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

野生動物学 伴侶動物学 植物共生学 人間植物関係学
動物介在療法学 植物介在療法学 研究

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	講義の進め方	本講義の意義, 進め方のガイダンス	◎本講義では、指示された内容について事前に準備を行う◎担当教員から指摘事項や助言が与えられるので、その内容を参考に研究を実施、改善すること。
2	農学研究科の理念 (1)	教育研究上の目的と教育目標	
3	農学研究科の理念 (2)	アドミッションポリシー、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー	
4	バイオセラピー学理解 (1)	専攻の教育研究上の目的と教育目標	
5	バイオセラピー学理解 (2)	アドミッションポリシー、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー	
6	研究倫理	研究者としての心構え	
7	学位論文のテーマ (1)	これまでの研究成果の評価	
8	学位論文のテーマ (2)	研究の意義、目的、新規性、独自性の評価	
9	学位論文のテーマ (3)	テーマに関するバイオセラピー学的視点の評価	
10	学位論文の構成 (1)	研究テーマに関する具体的課題の設定	
11	学位論文の構成 (2)	課題解決のための論理の評価	
12	研究方法 (1)	研究に必要な手法の確認と評価	
13	研究方法 (2)	研究に必要な手法の習得	
14	研究の実施計画 (1)	研究計画の立案	
15	研究の実施計画 (2)	研究計画の評価	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

適宜、必要に応じて指示する

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

バイオセラピー学入門/林良博・山口裕文編著/講談社(2012)

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト）

課題等に対する提出物を評価する。

◆オフィスアワー

昼休み（12:30～13:00）

◆その他受講上の注意事項

(オフィスアワー※：)

指導内容と時間、指導への対応等について記録した月報を作成すること。
